

銀の道やなしおコースを歩いてみよう

時間 約2時間 / うち徒歩区間 約2.9km



注意点

1. 交通ルールを守ること
2. 体調が悪くなったら早く連絡
3. 危険な場所には近づかない
4. ハチやマムシに注意!
5. 田んぼや畑に入っちゃダメ
6. ごみを捨てないこと!
7. 人と会ったら、明るく元気にあいさつしてね!

なにかあったらここに連絡
事務局 (NPO 法人別府安心ネット)

0855-75-0006

救急車 119

警察 110

銀山にちなむ人々

いどへいざえもん
井戸平左衛門

石見銀山領支配のために、第19代大森代官として1731年に着任しました。薩摩からいち早くサツマイモを持ち帰り、栽培したことで、銀山領内では飢饉での餓死者が出なかったとか。芋代官と呼ばれ敬慕され、別府地内にも彼を讃える碑が3か所に建てられています。



銀山にちなむ人々

おおくぼながやす
大久保長安

石見銀山の初代奉行として1601年に任命された戦国時代の武将です。石見銀山開発を急速に進めるとともに、当初主な輸送路であった大田市の沖泊や鞆ヶ浦を積出港とする舟を使った輸送について、冬の日本海は風が強く航行に支障が多いという理由から、大森から尾道まで中国山地を越え瀬戸内海へ至る陸路「銀山街道」を版築工法によって整備し、尾道から京都の「銀座」へ輸送するようになりました。

別府地域の昔話

＜天狗のはなし＞

むかしむかし、城山のふもとに、おじいさんと、とても元気な男の子が住んでいました。男の子は梅吉とって、植えたばかりの田んぼに入ってドジョウをすくったり、牛のしっぽに縄をくくりつけて牛を困らせたりして、よくおじいさんに怒られていました。

「コラー！梅吉、またしごんぼーする！悪い子をする^{てんぐ}と天狗が来て、つりよーていんで、しごーするぞ！」とよく言われたものです。

城山にはいろいろな木がたくさん生えていましたが、その中で一番大きな、こんもりとしげったタブの木がありました。その木に天狗がいて、「どこかに悪い子はいないかな」と、いつもじいっと見ているのです。でも梅吉はまだ一度も天狗を見たことがありません。



ある日おじいさんが昼寝をしているときに、そっと抜け出してタブの木のところに行ってみることにしました。胸はドキドキ、足はブルブル、それでも勇気を出してとうとうタブの木の下までやって来ました。

「天狗はどんな顔や姿をしているのかなあ」枝はこんもりとしていてよく見えません。とうとう大きな木を一回りしましたが、見つめることは出来ませんでした。

家へ帰って「じいさん、なんぼー探しても天狗はおらんでー」というと、おじいさんはむっくりと起き上がり、

「うーん、そりゃーなー、おまえがえーこだからだに！」

- | | | | |
|-------|--|------|------------------------------------|
| しごんぼー | いたずら小僧 <small>こぞう</small> の意。広島でも使われる。 | なんぼー | いくら、どれだけ |
| つりよーて | 連れて。連れあって。 | おらん | いない |
| いんで | 帰って | えーこ | 良い子 |
| しごーする | やっつける、事の始末をする。 | だに | 語尾に使う。出雲地方 <small>いずも</small> の方言。 |

別府地域の方言

別府地域ってどこ？

別府地域は島根県美郷町の北西に位置する地域です。大田市との境にあり、標高は200mくらい。町内では高い方です。冬場は雪がたくさん降りますよ。

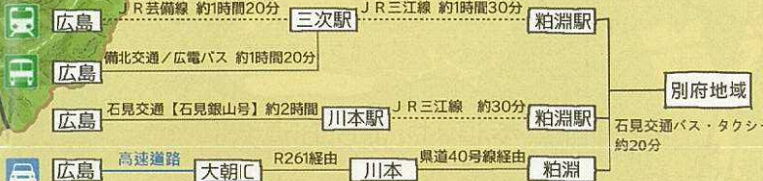


しまねのおへそ

美郷町ってどんなところ？

南は広島県三次市に接する、中国山地に位置する町。海はありません。人口は約 5000 人、中国地方最大の江の川がどんぶらこっこ流れてます。JR のローカル鉄道、三江線がコトコト走っています。春は桜、夏は螢、秋はもみじ、冬は雪も積もります！四季の濃厚な美郷に遊びに来てね。

美郷町役場 大和事務所



別府地域の 特産品



産直やなしおの里での
お弁当・お寿司・お野菜

新鮮な野菜や美味しい
お寿司、お餅を売って
います。



かあちゃん味噌

トルコギキョウ

地酒の錦露・銀路

小松地地区でハウス栽培しています。とても美しい花です。

錦露は「山田錦」、銀路は「五百万石」という別府地域のお米を使った地酒です。美味しいけど、お酒は20歳から♥

町内外で大人気のお味噌。国産大豆を使って寒い寒い1月に仕込みを行っています。

やなしお道の 植物の仲間たち



コウヤミヌキ



シュツラン



ショウジョウバカマ

メモ

銀の道 やなしおコース

ほんにすごい！戦国時代は世界一、銀山街道を歩いてみんなさい！

きんざんかいどう

START

今育っているのは三代目。
枯れてしまった二代目は展示されています。



はこも箱茂の松

石見銀山まで8km(2里)

サツマイモをたぬ、人を救ったので
イモ代官と呼ばれ親しまれました。

地域で慕われたお医者さん。
患者さんの送迎に使われた
「かご」は浄土寺に残っています。
(別府地域 志君地区の浄円寺)

むかし、清らかな川の水で
おがあんまごはんの支度
をしていました。

米とぎ橋

人の行き来が多かった十王堂に
(じゅうおうどう)(じんのんどう)
十王像と観音像が
おかれました。

今は別府八幡宮に
お引っこしています。



別府八幡宮

NPO 法人
別府安心ネット

昭和15年に郵便局として
建てられました。

至 粕湊

産直市 やなしおの里



新鮮なお野菜、おこわ、杓餅
箱ずし、巻ますしなど売ってます。
8:00~13:00 年末年始はお休み

大江高山火山群を見る！



銀の出た仙の山

火山で出来た変わった山の形が見えます~

三瓶山を見る！



親三瓶 子三瓶 孫三瓶

ぼこぼこお山が見えます

三つのお山が美しい！



親三瓶 子三瓶 孫三瓶

- 立ち寄りスポット
- 景観スポット
- 施設
- お手洗い

平成19年に世界遺産に登録された石見銀山。
発掘された銀は江戸時代以降、ここ別府を通して
広島県の尾道市まで4日間かけて運ばれました。

「やなしお」ってなに？

やなしおという言葉の元は、「や=多い」「な=の」
「しお=塩」でたくさんの塩を運んだという説や、
「な」は魚を表し、魚と塩を運んだとする説、
「しわい」という方言(しんどい・嫌な)が「やなしお」
へと変化したという説などがある。

また土を塩水で突き固める、現代のセメントのような
工法で作られていて、道の上には木や竹が生えません！
中国の万里の長城とおんなじやり方なんだって~！



有機の美郷
(前小松地小学校)

ちやえんばら
茶縁原

むかしの通学路

旧小松地保育所

GOAL

やなしお道→
この先、やなしお坂まで
約5.7km つづくよ~。

おおち
邑智北農道